



2025年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年6月11日
東

上場会社名 株式会社Ridge-i 上場取引所
 コード番号 5572 URL http://ridge-i.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳原 尚史
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 中井 努 (TEL) 03(4214)8558
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期第3四半期の連結業績(2024年8月1日~2025年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期第3四半期	2,047	—	265	—	272	—	132	—
2024年7月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年7月期第3四半期 180百万円(—%) 2024年7月期第3四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期第3四半期	34.21	33.12
2024年7月期第3四半期	—	—

※2024年7月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年7月期第3四半期の対前年同四半期増減率並びに2024年7月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年7月期第3四半期	3,110	2,635	73.0
2024年7月期	3,043	2,440	69.7

(参考) 自己資本 2025年7月期第3四半期 2,268百万円 2024年7月期 2,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年7月期	—	0.00	—	—	—
2025年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年7月期の連結業績予想(2024年8月1日~2025年7月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,610	—	285	—	290	—	145	—	37.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年7月期3Q	3,886,780株	2024年7月期	3,861,160株
2025年7月期3Q	76株	2024年7月期	2株
2025年7月期3Q	3,874,391株	2024年7月期3Q	3,794,128株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、四半期決算補足説明資料をTDnetで本日開示するとともに、当社ホームページのIRページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年8月1日から2025年4月30日)における我が国経済は、雇用環境の改善が進むなど緩やかな回復傾向が見られ、このような中、生成AI技術への注目の高まりにより、企業の生産性向上や競争力強化を目的としたDX関連の高い需要が継続しており、引き続き様々な場面においてAI導入の流れが加速しております。ただし、円安による輸入コストの上昇や、物価・賃金コストの上昇など、依然として、経済全体としての外部リスク要因は継続しています。

当社は「データ・AIを駆使した最先端技術とビジネス知見を用いて、未解決の課題に挑み、新しい社会を実現する」をミッションとして掲げ、カスタムAIソリューション事業として顧客の目的から現場のプロセス、課題を理解し、様々なデータに対応したAIを組み合わせた最適なAIソリューションを提案し、実装までを行っており、特に直近では生成AI関連と衛星データ利用のニーズが増加しております。また、AI技術と親和性の高いデジタルマーケティング事業において、SNS広告のプランニングから制作までとプラットフォームの配信や広告等で利用される音楽制作を展開してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高については、既存顧客からのAIプロジェクトの継続、人工衛星AI解析プロジェクトの増加、生成AIテーマ案件増により、また、前連結会計年度末より株式会社スターミュージック・エンタテインメントの連結子会社化を行いデジタルマーケティング事業が加わった結果、2,047,092千円となり、売上総利益については、1,048,389千円となりました。

営業利益については、上記のとおり売上高の増加に伴い、265,463千円となりました。販売費及び一般管理費は外注利用、積極的な採用活動や生成AI等の新しい技術に対応するために研究開発等を継続しておりますが、売上高の増加が費用増加を上回っており、営業利益率は13.0%で推移しております。

経常利益については、272,191千円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等91,487千円及び子会社の株式持分が53.8%のための非支配株主に帰属する四半期純利益48,155千円により、132,548千円となりました。

当社グループの報告セグメントは、従来「カスタムAIソリューション事業」の単一セグメントでしたが、前連結会計年度末より「カスタムAIソリューション事業」と「デジタルマーケティング事業」の2区分に変更しました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①カスタムAIソリューション事業

カスタムAIソリューション事業におきましては、売上高が982,335千円、セグメント利益が144,250千円となり、そのサービス別の売上高は、前期から継続している大手企業の顧客を中心にしたAIプロジェクトの継続に加えて開始が遅れていた案件やコンサルティングファームとの連携による案件が進捗したことによりAI活用コンサルティング・AI開発の売上高は665,335千円となりました。衛星関連プロジェクトは予定通り大型案件が完了し保守運用フェーズへ移行し人工衛星AI解析の売上高は252,896千円となりました。直近は新年度案件への移行期となっております。AIライセンス提供については大型の保守運用が継続しており売上高は64,103千円となりました。

②デジタルマーケティング事業

デジタルマーケティング事業におきましては、売上高が1,064,756千円、セグメント利益が121,212千円となり、そのサービス別の売上高は、ソーシャルメディアマーケティングの売上高は792,355千円、音楽制作配信サービスの売上高は272,401千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,590,302千円となり、前連結会計年度末に比べ121,961千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が35,872千円増加したこと及び直近月の売上増加により売掛金及び契約資産が98,216千円増加したことによるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末における固定資産は519,778千円となり、前連結会計年度末に比べ55,108千円減少いたしました。これは主にのれんの償却などにより無形固定資産が38,753千円減少したことによるものであります。この結果、総資産は3,110,080千円となり、前連結会計年度末に比べ66,852千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は451,572千円となり、前連結会計年度末に比べ80,669千円減少いたしました。これは主に直近月の取引増加により買掛金が64,422千円増加した一方で、前受金を受領していたプロジェクトが進捗し売上計上したことにより契約負債が120,457千円減少したこと及び借入金の全額返済により1年内返済予定の長期借入金が48,106千円減少したことによるものであります。また、第3四半期連結会計期間末における固定負債は23,496千円となり、前連結会計年度末に比べ47,161千円減少いたしました。これも借入金の全額返済により長期借入金が47,237千円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は475,069千円となり、前連結会計年度末に比べ127,830千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,635,011千円となり、前連結会計年度末に比べ194,683千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が132,548千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2024年9月11日に公表した2025年7月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2025年7月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,116,037	2,151,909
売掛金及び契約資産	285,496	383,713
仕掛品	1,050	5,937
前払費用	22,183	21,389
その他	43,572	27,351
流動資産合計	2,468,340	2,590,302
固定資産		
有形固定資産	87,611	69,532
無形固定資産		
のれん	333,116	308,132
その他	37,882	24,112
無形固定資産合計	370,998	332,245
投資その他の資産	116,277	118,000
固定資産合計	574,887	519,778
資産合計	3,043,228	3,110,080
負債の部		
流動負債		
買掛金	160,065	224,488
1年内返済予定の長期借入金	48,106	—
未払金	122,190	63,741
未払法人税等	18,671	77,987
契約負債	122,175	1,718
賞与引当金	3,379	28,821
その他	57,653	54,815
流動負債合計	532,241	451,572
固定負債		
長期借入金	47,237	—
資産除去債務	17,553	17,629
繰延税金負債	5,867	5,867
固定負債合計	70,657	23,496
負債合計	602,899	475,069

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,465	28,551
資本剰余金	1,945,140	1,952,226
利益剰余金	155,797	288,346
自己株式	△1	△194
株主資本合計	2,122,401	2,268,929
新株予約権	1,590	1,590
非支配株主持分	316,336	364,491
純資産合計	2,440,328	2,635,011
負債純資産合計	3,043,228	3,110,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2024年8月1日 至2025年4月30日)
売上高	2,047,092
売上原価	998,702
売上総利益	1,048,389
販売費及び一般管理費	782,926
営業利益	265,463
営業外収益	
受取利息及び配当金	1,173
助成金収入	5,910
その他	2,178
営業外収益合計	9,261
営業外費用	
支払利息	454
固定資産除売却損	1,513
その他	565
営業外費用合計	2,533
経常利益	272,191
税金等調整前四半期純利益	272,191
法人税等	91,487
四半期純利益	180,703
非支配株主に帰属する四半期純利益	48,155
親会社株主に帰属する四半期純利益	132,548

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2024年8月1日 至2025年4月30日)
四半期純利益	180,703
四半期包括利益	180,703
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	132,548
非支配株主に係る四半期包括利益	48,155

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	カスタムAIソリューション事業	デジタルマーケティング事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	982,335	1,064,756	2,047,092	—	2,047,092
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	982,335	1,064,756	2,047,092	—	2,047,092
セグメント利益	144,250	121,212	265,463	—	265,463

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来「カスタムAIソリューション事業」のみの単一セグメントでありましたが、前連結会計年度に株式会社スターミュージック・エンタテインメントの株式を取得したため当該事業を「デジタルマーケティング事業」として定義し、AIを強みとしてこの2つの事業の成長を目指すことを方針としております。これにより、第1四半期連結累計期間より、単一セグメントから「カスタムAIソリューション事業」と「デジタルマーケティング事業」の2区分により開示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)
減価償却費	27,184千円
のれん償却額	24,983千円